

令和4年

第8回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

令和4年第8回仙北市議会定例会 市政報告

令和4年第8回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、令和4年秋の叙勲等の受章についてです。

11月3日、秋の叙勲の発表がありました。仙北市では元工業統計調査員の坂本恵子さんが、統計調査功労で瑞宝単光章を、元仙北市消防分団長の佐藤健さんが、消防功労により瑞宝単光章を受章されました。

また、各分野で大臣表彰の受章がありました。地域の医療を支え、国民健康保険運営協議会委員として尽力されている菅原医院の大高詳一郎院長が国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰を、角館樺細工の振興に特に貢献したとして伝統工芸士の三浦勇さんが経済産業大臣表彰を、神代駅の長年の清掃活動等が評価され、荒町集落会が国土交通大臣表彰を受章されました。

11月1日、秋田県文化功労者として、西明寺診療所の市川晋一所長が地域医療・保健の向上の功績により表彰され、秋田県地方自治功労者表彰では、自治功労により小林幸悦議員が表彰されました。

この度の受章、表彰は、永年にわたる職務の精励や功績、功労が認められたものです。市民の皆さんと共にご労苦に感謝し、心からお祝いを申し上げます。

次に、新型コロナウイルス感染状況についてです。

11月に入り、第8波が年内に来ると予想される中、県内は感染者が急増し、週ごとの感染者が8,000人を超えようとしています。市内においても推計値ではありますが、一日の感染者数が30人強と予想されます。インフルエンザの流行時期と重なることから医療機関の逼迫が懸念されます。オミクロン株対応ワクチンの接種を進めるとともに、インフルエンザの予防接種も合わせて実施するようお願いいたします。

市民の皆様には、警戒感を強め、基本的な感染対策の徹底による感染者数の減少にご協力をお願いします。

次に、新型コロナウイルスのワクチン接種についてです。

9月22日から1、2回目の接種を終えた22,082人を対象に、オミクロン株対応ワクチンの接種を開始していますが、11月20日現在、5,335人が接種を受け、接種率は21.9%となっています。

この後、11月30日以降、前回接種から3か月を経過する60歳以上の対象者が増えます。引き続き、接種機会確保に努めていきます。

次に、仙北市人口動態についてです。

10月31日現在の人口は2万4,217人で前年同月比614人減、世帯数は1万437世帯で前年同月比79世帯減となっています。出生数は今年度4月から10月までで42人となっています。前年同時期の出生数は49人で、7人減という状況です。引き続き子育て及び若者関連施策を推進します。

次に、行財政改革についてです。

タブレットに掲載していますが、行財政改革の一環として進めていた令和5年度各部局経営方針シートがまとまりました。部局長は各部の経営者であるべきとの視点から、これは単なる事業の羅列ではなく、部の使命・役割、人的資源、重要視すべき価値を踏まえた上で、取り組むべき課題を整理したものです。令和5年度予算については、先に行った事務事業評価、施策評価及びこの部局経営方針シートに基づき編成を進めていきます。

次に、一般会計補正予算(第9号)についてです。

第9号の補正額は7,790万1千円の追加で、補正後の額は218億4,238万1千円です。主な事業は、障害者支援施設等物価高騰対策事業費、介護保険施設等物価高騰対策事業費、介護保険特別会計

繰出金、保育所等光熱費価格高騰対策事業費、保育所等給食費価格高騰対策事業費、下水道事業会計補助金などです。

次に、令和5年度の財政見通しについてです。

国の令和5年度予算は、経済財政運営と改革の基本方針2022において、人、科学技術、新規創業、グリーン化・デジタル化への重点投資する方針を掲げるとともに、財政健全化の「旗」を下ろさず、財政健全化の目標に取り組むとしています。総務省の令和5年度の概算要求では、地方の一般財源総額は実質的に同水準を維持することとしていますが、臨時財政対策債を含めた実質的交付税は削減される見込みになっています。

本市の財政状況を見ると、歳入面では実質的交付税が減少見込みであることや、市税において原油価格高騰などの影響も想定されるため、増収を見込むことは難しい状況で、極めて不安定で予断を許さない状況です。歳出面では、高齢化進展に伴う社会保障費の増加や過去に発行した公債費の引き続き増加、光熱費の増加などが想定されるほか、新型コロナウイルス感染症対策など、厳しい財政運営となることが想定されています。

予算編成にあたっては、国際社会の不確実性が高まっている中、本市の持続可能性の確保に努める必要性があります。厳しい財政状況にあっても、将来に向けて真に必要な取り組みには投資するとともに、災害等への備えとして基金残高の確保をしていくためには、市税等各種収入金の確保、遊休資産の処分、すべての事業の見直しによる財源確保など、これまで以上に強力に推進します。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇ふるさと納税について

11月20日現在、寄附額8億62万5千円、昨年同日比127.0%で

す。全県の市町村が寄附額を減らす中、返礼品数を300から823まで増やすなど、寄附者のニーズに応えたことが功を奏しているものと捉えています。年間の約4割が集中する12月に向け、仙北市を訪れた観光者向けの旅先納税サイト、市内高級旅館を返礼品にするサイト、在日中国人向けのサイトなどについて開設の準備を進めています。

◇若手職員育成について

若手職員が応募しました地方創生★政策アイデアコンテストについて、「デマンドタクシー利用促進のための施策提案」が東北経済産業局局長賞を受賞しました。12月10日に開催する最終審査会にノミネートされています。今後も、このような機会を通じて、若手人材の政策立案能力の底上げを進めていきます。

【市民福祉部】

◇マイナンバーカードの交付状況について

当市のマイナンバーカードの交付率は、11月13日現在43.73%となっています。8月14日現在36.62%から、7.11ポイント伸びました。

カードの申請率は49.78%となっていて、市民の半数近い方が申請されています。

11月1日から郵便局での申請サポートが始まっています。また、市役所内にも専用窓口を設置し、申請サポートを行っています。顔写真の撮影からカード申請完了までのサポートを行いますので、まだ申請されていない方は、ぜひご利用いただきたいと思います。

また、さらなる交付率向上のため、引き続き、市役所全体で関係団体等へ文書やチラシによる取得協力依頼など、広報周知に取り組んでいきます。

◇教育・保育施設のおむつ持ち帰り廃止について

保育施設のおむつ持ち帰り廃止について、11月より公立は全園廃止済み、私立は準備が整った施設から順次廃止を進めています。

衛生対策と保護者の負担軽減につながり、子育て支援の一步前進と捉えています。今後もさらに子育て支援策を充実させていきます。

◇令和4年度子育て世帯生活支援特別給付金給付事業について

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業の9月、10月の給付実績は、「ひとり親世帯」については13人分、「ひとり親世帯以外」については4人分をそれぞれ10月18日までに支給しています。広報で再度、事業周知を図るとともに、今後も審査、支払い事務を迅速に進めていきます。

◇令和3年度及び令和4年度の住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業について

住民税非課税世帯等へ10万円を給付する事業について、令和3年度事業は、確認書発送世帯数3,289世帯のうち、3,235世帯、98.4%の世帯が支給済みとなっています。家計急変により申請書を提出されたのは12件で、10世帯に支給しています。

令和4年度事業は、確認書発送世帯数406世帯のうち、388世帯、95.6%の世帯が支給済みとなって、住民税非課税世帯の生活支援となっています。

◇仙北市電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付事業について

電力・ガス・食料品等の価格高騰による世帯への負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯に対し、国からの5万円に市独自事業分として1万円を上乗せし、1世帯当たり6万円を給付します。確認書は11月14日付で3,282世帯に発送し、申請期限は令和5年1月31日となります。

届出があり次第、速やかに事務処理を行い、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業と併せ、低所得者世帯を支援します。

【観光文化スポーツ部】

◇姉妹湖締結35周年記念事業について

今年度は、台湾澄清湖と田沢湖が姉妹湖締結35周年の記念の年になります。コロナ感染症の影響でお互いの湖を訪問するという従来行ってきた交流は出来ませんでした。10月22日、プレイベントとして瀧分校を会場に台湾イベントを開催しました。

姉妹湖の締結日である11月4日、台湾では田沢湖の写真展の、仙北市では澄清湖の写真展の開幕式を田沢湖クニマス未来館と台湾をオンラインでつないで行い、変わらぬ交流を喜びあいました。

◇田沢湖リトリートイベントについて

10月12日、田沢湖畔を会場に、景観価値の高い豊富な地域資源の再確認と利活用を目的として、田沢湖リトリートイベントを実施しました。

農家民宿を中心とした食材提供者や専門家、観光関係者18人が地域の食材を使ったコース料理を湖畔の砂浜で体験し、今後この資源をどうやって活用していくかの議論を官民一体となって始めています。今後のインバウンドをはじめとした誘客への活用が期待されます。

【農林商工部】

◇米の作柄状況及び経営所得安定対策について

11月9日公表の農林水産統計による令和4年産水稻の作柄状況では、秋田県の作況指数は95の「やや不良」で、県南でも同様に97の「やや不良」となっています。6月前半の低温と日照不足で全もみ数が平年より少なく推移したことに加え、8月の大雨とその後の日照不足が影響したものと考えられます。

また、仙北市地域農業再生協議会やJA秋田おぼこ等の各方針作成者から農家の皆様に提示した生産の目安は、2,593ヘクタールに対して2,363.71ヘクタールの作付けとなりました。目安よりも、さらに229ヘクタール多く米以外の作物への転換が図られたこととなります。

農家の皆様の需要に応じた米生産という高い意識が結果に表れたと推察しています。主食用米以外の作物(販売目的)へ取り組まれた593戸には、経営所得安定対策の交付金約6億1,000万円が交付される予定です。現在、12月中の交付ができるように対象となる方々から提出された書類の確認作業を行っています。

◇仙北市民プレミアム商品券について

新型コロナウイルスの影響により低迷に対する消費の喚起や住民生活の支援を行うため発行した「仙北市民プレミアム商品券」は、11月11日時点での商品券換金状況は、換金率85.5%、換金額2億2,121万4千円となっていて、地域経済の下支えとなっています。

◇KOUGEI EXPO in AKITA 開催記念 第50回角館町樺細工伝統工芸展について

10月20日から26日まで角館樺細工伝承館を会場に、第50回角館町樺細工伝統工芸展を開催しました。今年は秋田県で第39回伝統的工芸品月間国民会議全国大会が開催され、関連イベントとして開催しました。

今回の工芸展には伝統工芸品の部に19点、一般品の部に23点が出展されました。先立って行われた審査では、16点の入賞作品が選出され、伝統工芸品の部の最高賞、秋田県知事賞には、^{よねざわけんご}米沢研吾さんの作品「ひび皮茶筒」が選ばれました。

期間中、職人のこだわり作品など約400点が展示・即売され、伝統的な技法やデザイン性の高い作品を一目見ようと、昨年^の2倍以上の1,800人ほどが来場しました。

◇「山の楽市」開催について

10月21日から23日までの3日間、東京都町田市の商業施設ぽっぽ町田を会場に、市内の中小・小規模事業者の新たな販路開拓を目的に、地域の魅力ある商品を紹介する観光と物産展「山の楽市」が開

催されました。

「山の楽市」には市内7事業者が出店し、新米あきたこまちをはじめ、直送した仙北市の秋の味覚の数々を販売できました。売上額は、3日間合計323万円でした。

【建設部】

◇道路事業期成同盟会について

10月28日、グランデールガーデンを会場に、国道46号盛岡秋田道路整備促進フォーラムを開催し、国土交通省東北地方整備局信太道路部長、高橋豪秋田県議会議員をはじめ多数の来賓をお迎えし、盛会裏に終わりました。また、11月7日、北秋田市鷹巣を会場に、大曲・鷹巣道路整備促進フォーラムを開催し、近藤健一郎秋田県議会議員をはじめ多数の来賓をお迎えし盛会のうちに終わっています。

両同盟会の要望活動について、11月4日は秋田県、秋田河川国道事務所、能代河川国道事務所、11日は岩手河川国道事務所、15日は東北地方整備局、地元選出国會議員、16日は国土交通省、財務省へ行いました。

要望内容は、盛岡秋田道路では、「生保内～卒田間」の早期計画策定、大曲・鷹巣道路では、国直轄権限代行で事業が進められています。「大覚野峠防災」の早期着工を主な要望としています。

今後も強力に要望活動に努めますので、議員の皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

◇水道料金及び下水道使用料の改定について

将来にわたり持続的に安全で安心な水道水と、衛生的で快適な生活環境を提供するため、昨年度より水道事業については水道運営審議会、下水道事業については下水道使用料等検討委員会で審議していただき、11月22日、今後の料金のあり方について、それぞれの委員長から答申書が提出されました。市では、今後、この答申を基に料金改定について検討を進めていきます。

【医療局】

◇院内クラスターの発生について

11月17日、田沢湖病院で院内クラスターが発生しました。幸い重篤な症状に至る方もなく、11月24日から、一部を除いて外来診療を再開しています。病院を利用される皆様には、大変ご迷惑とご心配をおかけしました。今後は一層感染対策の徹底を図り、安心して病院をご利用いただけるように努めていきます。

◇新型コロナウイルス感染症対応について

本年度の角館総合病院における新型コロナウイルス感染症専用病床への延べ入院患者数は、10月31日現在で899人となっていて、昨年同期に比べ564人増加しています。限られたスタッフで対応し、一般病床への入院患者の受入れを抑制して対応しています。

また、今冬は、インフルエンザとの同時流行も懸念されますが、両病院の発熱外来で、しっかりと対応し、入院・外来ともに必要とされる医療提供体制を確保します。

【農業委員会】

◇農業委員、農地利用最適化推進委員に係る令和3年度費用弁償未払いについて

農業委員、農地利用最適化推進委員の皆様が農業委員会総会、専門委員会、農用地利用調整会議に出席した際支払いする費用弁償について、令和3年度分を支払っていない事実が判明しました。

令和4年度予算の執行状況を確認する中で、過年度の支出状況と比較をされていて誤りを発見しました。

当該費用弁償については、年度末に各委員の出席状況に応じて1年分を一括しそれぞれの相当額を支払していました。令和3年度分について、農業委員、農地利用最適化推進委員合同会議分の費用弁償は支払っていて、総会・専門委員会・利用調整会議分の費用弁償と混

同じ確認を失念し、未払いとなったものです。

市民の皆様の信頼を損ねることになりましたことについて、深く反省するとともにお詫び申し上げます。

再発防止策として、費用弁償の支払は毎月毎に行うこと、事務の見える化をさらに図り、職員相互にチェックする二重確認体制を徹底します。二度とこうした事態を起こさないよう、再発防止に努めます。

また、関係予算を本定例会に提案していますので、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げます。本定例会に提案している案件は、報告関係2件、条例関係12件、予算関係9件、その他1件、指定管理者関係3件、人事関係1件の計28件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げ、市政報告とします。